

女性医師支援センター事業について

I. はじめに

平成 18 年度に厚生労働省委託事業として開始した「医師再就業支援事業」は、平成 21 年度に「女性医師支援センター事業」に改称し、本年度が事業開始から 17 年度目に当たる。

本事業では、これまでに様々な試みを行い、成果を上げてきた。令和 4 年度は、バンクシステム、ホームページの改善などをはじめ、昨年度までと同様に女性医師バンクの広報活動に注力し、就業成立件数の増加を図るとともに、女性医師支援の普及啓発活動を継続した。

また、女性医師支援センター事業の更なる充実を図るため、医育機関に勤務・所属する医師のキャリアプラン調査を行ったほか、都道府県医師会等との連携推進を目的とする医師バンク体制実態調査を行うなど、実情調査にも注力した。

そのほか、令和 3 年より「医師の多様な働き方を支えるハンドブック」を制作し配付を行っている。このハンドブックは、医師が社会人として働く上での基礎知識や出産・育児に関して直面する課題、それを支える制度など必要な情報を掲載しており、医学生、研修医など若手医師をはじめとした多くの医師に活用頂ける内容となっている。

Ⅱ. 女性医師支援センター事業運営委員会

本事業に関わる様々な課題を検討する運営機関として、女性医師支援センター事業運営委員会（角田委員長他 5 名）を設置。本年度は令和 4 年 10 月 25 日、令和 5 年 1 月 24 日に開催し、女性医師支援センターの事業計画の策定、四半期毎の事業報告、事業の検証、また、女性医師バンクの機能拡充についてなどの運営に関し、審議を行った。

Ⅲ. 女性医師バンク

「女性医師バンク」は、女性医師等の就業継続・再就業支援のため、平成 19 年 1 月 30 日に創設された無料の職業紹介事業所である。主な事業内容は、医師の就業斡旋、ならびに医師からの相談対応・支援である。コーディネーターが求職者一人一人のライフスタイルに合わせた就業先や再研修先の紹介をきめ細やかに行っている。

令和 4 年度の運用状況は、次のとおりである。

- 【新規登録件数】・・・ 580 件（求職者）、822 件（求人施設）
- 【就業支援件数】・・・ 1,530 件
- 【就業成立件数】・・・ 569 件（常勤 28 件、非常勤 205 件、スポット 336 件）
- 【有効登録総数】・・・ 3,524 件（求職者）、6,435 件（求人施設）

（※令和 5 年 3 月末時点）

Ⅳ. 女性医師支援・ドクターバンク連携ブロック会議

地域内での情報交換の機会として、平成 21 年度より、全国を北海道・東北、関東甲信越・東京、中部、近畿、中国・四国、九州の 6 ブロックに分け、各ブロックにて「女性医師支援センター事業ブロック別会議」を開催してきた。令和 4 年度はドクターバンク事業における各都道府県医師会とのさらなる連携強化を目的とし、以下のとおり開催した。

- ・ 北海道・東北ブロック（令和 4 年 10 月 29 日 山形県医師会担当 出席者：35 名）
- ・ 関東甲信越・東京ブロック（令和 4 年 5 月 7 日 千葉県医師会担当 出席者：44 名）
- ・ 中部ブロック（令和 4 年 11 月 27 日 三重県医師会担当 出席者：39 名）
- ・ 近畿ブロック（令和 4 年 12 月 10 日 兵庫県医師会担当 出席者：48 名）
- ・ 中国・四国ブロック（令和 4 年 11 月 23 日 広島県医師会担当 出席者：67 名）
- ・ 九州ブロック（令和 4 年 11 月 19 日 鹿児島県医師会担当 出席者：56 名）

Ⅴ. 医学生、研修医等をサポートするための会

医学生、研修医等の支援活動として、平成 18・19 年度、本会男女共同参画委員会が、都道府県医師会と共催で実施してきた標記講習会を平成 20 年度より本事業の一環として行っている。

女性医師が生涯にわたり能力を十分発揮するためには、職場や家庭における理解と協力が不可欠であり、性別を問わず、医学生や研修医の時期から男女共同参画やワークライフバランスについて明確に理解しておくことが重要との観点から、「医学生、研修医等をサポートするための会」として、都道府県医師会ならびに日本医学会分科会や医会等の医療関係団体との共催により実施している。本年度の申請延べ数は 56 件（都道府県医師会 34 件、学会等 22 件）で、延べ参加人数は 5,044 名であった。

〔開催日順〕

	開催日	団体名	開催場所等
1	5 月 15 日(日)	日本脳神経外科学会	WEB 形式（配信元：日本脳神経外科コンgres総会） オンデマンド配信：5 月 23 日～6 月 22 日
2	5 月 20 日(金)	日本小児外科学会（1 回目）	虎ノ門ヒルズフォーラム
3	5 月 26 日(木)	日本血管外科学会	AIM ビル
4	6 月 9 日(木)	岡山県医師会	川崎医科大学
5	7 月 8 日(金)	日本ペインクリニック学会	ハイブリット形式（配信元：東京国際フォーラム）
6	8 月 21 日(日)	日本臨床検査医学会	WEB 形式（配信元：東京大学医学部附属病院検査部）
7	8 月 27 日(土)	日本精神神経学会	ホテルイタリア軒
8	9 月 7 日(水)	香川県医師会	香川大学医学部
9	9 月 20 日(火)	富山県医師会（1 回目）	富山大学杉谷キャンパス
10	9 月 30 日(金)	長崎県医師会	長崎大学病院
11	9 月 30 日(金)	福島県医師会（1 回目）	ハイブリット形式（配信元：福島県立医科大学）

12	10月4日(火)	高知県医師会	WEB形式(配信元:高知大学医学部)
13	10月6日(木)	日本胸部外科学会	パシフィコ横浜
14	10月7日(金)	和歌山県医師会	和歌山県立医科大学
15	10月8日(土)	日本アレルギー学会	ハイブリット形式(配信元:東京国際フォーラム)
16	10月9日(日)	日本熱帯医学会	ハイブリット形式(配信元:別府市ビーコンプラザ)
17	10月15日(土)	日本眼科医会	東京国際フォーラム
18	10月20日(木)	福岡県医師会(1回目)	久留米大学
19	10月21日(金)	秋田県医師会	秋田県総合保健センター
20	10月27日(木)	日本小児外科学会(2回目)	ハイブリット形式(配信元:岡山コンベンションセンター)
21	10月27日(木)	岐阜県医師会	ハイブリット形式(配信元:岐阜県医師会館・岐阜大学医学部)
22	10月29日(土)	日本女医会	WEB形式(配信元:日本女医会)
23	11月4日(金)	日本人工臓器学会	愛媛県県民文化会館
24	11月4日(金)	日本泌尿器科学会	北九州国際会議場
25	11月5日(土)	日本神経学会	TFTビル東館9階
26	11月6日(日)	日本リハビリテーション医学会	岡山コンベンションセンター
27	11月9日(水)	三重県医師会	ハイブリット形式(配信元:三重大学医学部附属病院)
28	11月12日(土)	日本放射線腫瘍学会	リーガロイヤルホテル広島
29	11月12日(土)	日本糖尿病学会	広島国際会議場
30	11月16日(水)	青森県医師会	弘前大学医学部
31	11月21日(月)	北海道医師会(1回目)	WEB形式(配信元:旭川医科大学)
32	11月22日(火)	兵庫県医師会	WEB形式(配信元:神戸大学医学部)
33	11月24日(木)	愛媛県医師会	愛媛大学医学部
34	11月25日(金)	徳島県医師会	WEB形式(配信元:徳島県医師会館)
35	11月25日(金)	日本肝臓学会	仙台国際センター
36	11月25日(金)	北海道医師会(2回目)	WEB形式(配信元:札幌医科大学附属病院)
37	11月26日(土)	長野県医師会	WEB形式(配信元:長野県医師会館)
38	11月26日(土)	神奈川県医師会	WEB形式(配信元:神奈川県総合医療会館)
39	11月30日(水)	福岡県医師会(2回目)	福岡大学
40	12月1日(木)	大阪府医師会	WEB形式(配信元:近畿大学医学部発信)
41	12月1日(木)	広島県医師会	ハイブリット形式(配信元:広仁会館)
42	12月3日(土)	東京都医師会	ハイブリット形式(配信元:東京慈恵会医科大学)
43	12月14日(水)	石川県医師会	WEB形式(配信元:金沢医科大学病院)
44	12月15日(木)	島根県医師会	島根大学医学部
45	12月21日(水)	群馬県医師会	群馬大学医学部
46	12月23日(金)	福岡県医師会(3回目)	産業医科大学
47	1月14日(土)	日本放射線科専門医会・医会	ハイブリット形式(配信元:福岡国際会議場)
48	1月14日(土)	北海道医師会(3回目)	北海道大学病院
49	1月18日(水)	宮城県医師会	ハイブリット形式(配信元:宮城県医師会)
50	1月21日(土)	日本手外科学会	ハイブリット形式(配信元:TKP新宿カファレンスセンター)
51	1月25日(水)	愛知県医師会	WEB形式(配信元:愛知県厚生農業協同組合連合会安城厚生病院)
52	1月30日(月)	福島県医師会(2回目)	福島県立医科大学

53	2月11日(土)	日本整形外科学会	日本整形外科学会
54	2月17日(金)	熊本県医師会	ハイブリット形式(配信元:熊本県医師会館)
55	2月28日(火)	福井県医師会	福井大学医学部附属病院
56	3月14日(火)	富山県医師会(2回目)	富山大学杉谷キャンパス

*56 富山県医師会(2回目)は、1月25日開催予定であったが、大雪のため日程変更。

Ⅵ. 地域における女性医師支援懇談会

女性医師支援センターでは、地域における2020.30推進のため、「2020.30実現をめざす地区懇談会」を各地域で女性医師支援活動を行っている先生方を実施責任者として、平成27年2月より全国各地において開催してきた。

平成28年より、「地域における女性医師支援懇談会」と名称を変更し、女性医師支援や女性医師バンクの普及啓発を推進していくことを主旨とした内容で実施している。

本年度は全国各地において26件の申請があり、633名の参加があった。

Ⅶ. 医師会主催の研修会等への託児サービス併設費用補助

育児中の医師の学習機会確保を目的として、平成22年度より研修会等への託児サービス併設に対して一定額の補助を行っており、本年度は、令和4年4月～令和5年2月に開催された都道府県医師会または郡市区医師会が主催する研修会等を対象とし、補助を行った。

今年度の申請は、都道府県医師会主催分が6道府県より14件あった。日本医師会主催分は0件。新型コロナウイルス感染症対策の観点から、引き続き研修会のリモート開催が多かったことにより、利用数は少なかった。